



発行／特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1 豊橋商工会議所内

Tel 0532-53-7211 URL <http://www.asakuragawa.net>

Fax 0532-53-7210 E-mail [hotaru@asakuragawa.net](mailto:hotaru@asakuragawa.net)

**11月20日(土)**

## 第8回植樹メンテナンス大会開催

小春日和のもと、すっかり恒例になった朝倉川植樹メンテナンス大会が開催されました。

平成10年から14年まで、5年間にわたって植樹大会が行われ、植えられた本数は49,000本。延べ5,000人の手で植えられました。

その後、19,20年度に愛知県により大幅な間伐が行われ現在の本数は7,136本になっています。昨年同様、植樹がされている多米橋から寺門橋までの2.1kmを28団体、580人の参加で行いました。1年経つと木はけっこう枝葉を広げていて、当初予想していた以上の作業になりましたが、みなさん楽しく協力しあい、同時に「川と海のクリーン大作戦」でゴミ拾いも行ない、植樹エリアは朝倉

川の水面が見えるすっきりきれいな川岸になりました。

今年の名札付けは落葉樹では「ムクノキ」「エゴノキ」。常緑樹は「ヤマモモ」と「ソヨゴ」でした。昨年の「エノキ」「コナラ」「カクレミノ」「タブノキ」より本数が少ないので、探すのが大変でしたが樹木探偵も大活躍でした。



「ソヨゴ」

**これからもご支援・ご協力**

**よろしくお願い致します**





## 学習成果発表



桜丘中学校では開校以来（再開18年目）、「生きる力・問題解決力」の育成を教育目標の大きな柱と位置づけ、中高一貫教育の総合学習教育で「人間関係学」「国際理解学」を2本柱としています。

1年生前期の総合学習では、「人間関係学」の中で、環境とどう関わるかを考える自然環境学習を行っています。

毎年NPO法人・朝倉川育水フォーラムが整備するビオトープでの体験学習を中心に学習し、前期総合学習のまとめとして、自分達でテーマを決めて調査研究をし、その成果をパソコン映像（パワーポイントによるプレゼン発表）で発表します。

今年度、第18期生72名は、11月4日（木）にテーマ別での12班で調査研究した結果を発表しました。



### <総合学習の目標>

体験型学習、調査研究、発表を通して、自然環境と深くかかわり、課題を追及し、これからの社会に必要とされる力である科学的思考力・創出力（マネジメント能力）・表現力（プレゼンテーション能力）を体系的に身につける。

### <主な調査研究テーマ>

「外来種の生態と影響」「食品添加物とその影響」～食品添加物のメリットとデメリット～「生物多様性について」「シジミの浄化作用」「天然酵母とその利用について」 など。

### <今年度の総合学習の主な学習内容>

朝倉川清掃活動、植物観察と野草の天ぷらを食べよう、植物・昆虫・野鳥の観察学習、葦毛湿原での植物観察、水質調査、帰化動植物の学習、生物多様性について、など



### いつも楽しく交流させていただいていま～す

いつ頃からでしょうか？初々しい中学生になったばかりの生徒さんたちとわいわいガヤガヤとフキやタケノコをてんぷらにし、あげくにはタンポポ、セイヨウアザミ、オオバコなどなど日頃は口にしないであろう草までてんぷらにして食べて見ます。草木染を一緒にしたり・・・遊びのような授業です。元気な1年生たちと来年もビオトープで学びあえるのを楽しみにしています。（ボランティアのHさん）





朝倉川育水フォーラムご支援いただき  
協働で活動していただいている団体（企業）から  
お便りが届きました！



街中で見つけた！ホタルマーク

### 豊橋東ライオンズクラブ

#### 雨がふったらどうしよう？

雨が降ったらどうしよう？出席予定者全員に連絡するのは大変だよね、集合時間の2時間前には連絡しないといけないとなると雨降りの判断も難しいよね。豊橋東



ライオンズクラブの環境保全委員会のメンバー全員が仕事が終わった夜6時15分にいつもの



スエヒロに集まり皆で当日の集合場所、集合時間、持ってくる物をてきぱきと決めて

いった後で、委員の一人がつぶやいた。確かに一か月も先の話を決めているのだから、しかも屋外の作業を伴うアクティビティなのであるから、つぶやきはご尤もなことである。我々環境保全委員は年齢60歳台から80歳台の6名で構成されている。世間一般では年寄りと呼ばれている、この仲間が小学生にも負けない素直な志で朝倉川にホタルの光を見たいと、真剣に討議しているのである。しかし我々の年寄りは無駄に年を重ねていない、一人が雨天決行で行こう、もし槍の降るような雨なら誰も来ないし少々の雨なら全員出てくるから心配いらないよ。これで決まり。後は11月6日を待つだけ。当日は好天気、全員出席、ご苦労様でした。又来年もやろうね。



<ザリガニ釣りも大事な仕事>



<イモ堀はいつの間にか虫探し隊に>

### ワルツ(株)

#### 2000年から始めたワルツの環境保全活動

ISO14001を取得して以来、定期的に社内行事「ISO推進日」として、社員教育とともに、環境保全活動を継続しています。2000年から開始し、年回2~3回企画し、現在では30回を超える開催となりました。社員が手作りで企画し、午前中は体を使っての社外活動、午後からは集合し100人位の全体勉強会としています。午前の活動は、数班に分けて、「朝倉川育水フォーラム」の530大会や植樹大会に参加しています。初めは有志で数名での参加でしたが、今では休日の土曜日に年2回社内行事として計画し、50名くらい参加させています。目的であるホタルも上流で生息し、年々ゴミが減っています。

現在では育水フォーラムさんの指定された以外の場所を独自の企画で、50人程度で活動するようになりました。昨年より、育水フォーラムさんをお願いしピオトープ導入させていただきました。



<ピオトープの杭打ち>

他にも海ガメが海岸で産卵できるように表浜の海岸清掃活動への参加や新城に行つて台風で倒れた杉の木を切り分けて「薪木拾い」も企画しました。今



<薪木拾い>

までも、ゴミを拾いながら「エコハイキング」や、当社の製品である「レギュラーコーヒー」の抽出カスをリサイクルする活動もしました。

今後も、色々な企画を考えながら、里山づくりの支援などその時節に合わせた活動をしていくつもりです。



<ピオトープ作業のみなさん>

かわになコラム



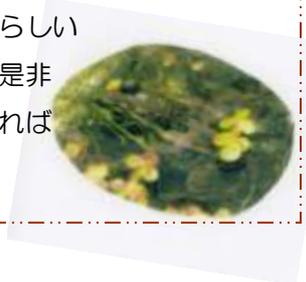
古くから日本で言われる「里地・里山」は、生活する上で森林や河川さらには田んぼや畑などの耕作地と人間が常に関わり続けることによって環境の保全が行われているということが大きな特徴です。

エネルギーでいえば、落葉広葉樹の枝を利用し炭焼きをしたり。その木もなくなることが無いように定期的に植林をくり返すという方法を繰り返してきたのも里山です。しかし、ヨーロッパなどを中心とした、他の国では、森林と生活環境というものがこれだけ密接にかつ「まち」と「森」をうまくつないでいる環境は多くなく、このような、日本人にとって昔から当たり前の「里山」という環境、日本固有の環境であり、生活空間なのだそうです。

今年、名古屋の地で COP10 が開催され多くの議論がされました。その中の一つに「SATOYAMA イニシアティブ」というものがあります。

これは、「里山」をはじめとする世界各地の伝統的な自然共生の知恵と現代の技術をうまく融合することによって、自然資源の持続可能な管理と利用のために共通理念を構築しようというものです。

日本の古くからの生活と密接につながった「里地・里山」での知恵が「SATOYAMA」という形になり世界に発信されるということは、非常に素晴らしいことだと思います。これを機会に是非近くの里山に足を向けていただければと思います。



ビオトープ・里山だより

9月4日(土) ローターアクトさんと協働



ビオトープは、春から秋までいつも草との戦い!! ローターアクトさんの頼もしい力を得てビオトープメンバーは炭焼き釜をピザ窯にリニューアル。作業の後にはおいしいピザも焼きあがりました。

11月6日(土) 豊橋東ライオンズクラブさんと協働

収穫祭 関連記事 3 頁

11月17日(水) 東田小学校 総合学習

毎月第1土曜日はビオトープ作業日

出来事



7/25 朝倉川探検隊

アクアフェスタ参加者対象

10/23 ミニ水族館

名鉄ハイツ参加者対象



ご案内が遅くなり申し訳ありません。22年度の会費納入の振込み用紙を同封させていただきます。直接事務局までお持ちいただいても結構です

\*\* 講座案内 \*\*

市民大学 ترام

豊橋の水から考える環境問題

全5回 受講料 1000円

ところ 二川地区市民館 集会室

時間 日曜日 午後 1:30~3:00

	開催日	テーマ
①	1/16	とよがわの話 講師：国交省豊橋事務所所長 畠山真一
②	1/30	三河湾における 環境改善の取り組み 講師：名古屋港湾空港技術所長 西村大司
③	2/13	環境を表現することの大切さ 講師：愛知大学教授 大澤正治
④	2/27	なぜ環境問題は解決しないのか 人間(動物)という視点から 講師：名古屋工業大学准教授 小田亮
⑤	3/6	今、豊橋の水は？ 講師：当フォーラム理事長 高橋豊彦

\* 全てのお申込み・お問い合わせは \*

特定非営利活動法人朝倉川育水フォーラム

〒440-8508 豊橋市花田町石塚 42-1

TEL 0532-53-7211

FAX 0532-53-7210

URL <http://www.asakuragawa.net>

E-mail [hotaru@asakuragawa.net](mailto:hotaru@asakuragawa.net)